島根県内各地の自然放射線分布(線量率)

島根県では平成5年から平成10年までの5年間にわたり、県内を約150地点に置いて、TLDによる空間ガンマ線線量率を測定し、県内における自然放射線分布を調査しました。

測定結果では、46.8nGy/h～117.8nGy/hに分布しており、平均値は75.43nGy/hでした。

地理的に見ると、中国山地での花崗岩地帯を中心とする地域に、100nGy/hを越える地域が分布しています。

TLD(熱ルミネッセンス線量計)とは

放射線を受けた物質が加熱したときに発光する(熱ルミネッセンス)ことを利用した放射線測定器。受けた放射線の量に比例して光を出し、何度でも利用できるため、原子力発電所などの放射線管理に広く利用されている。

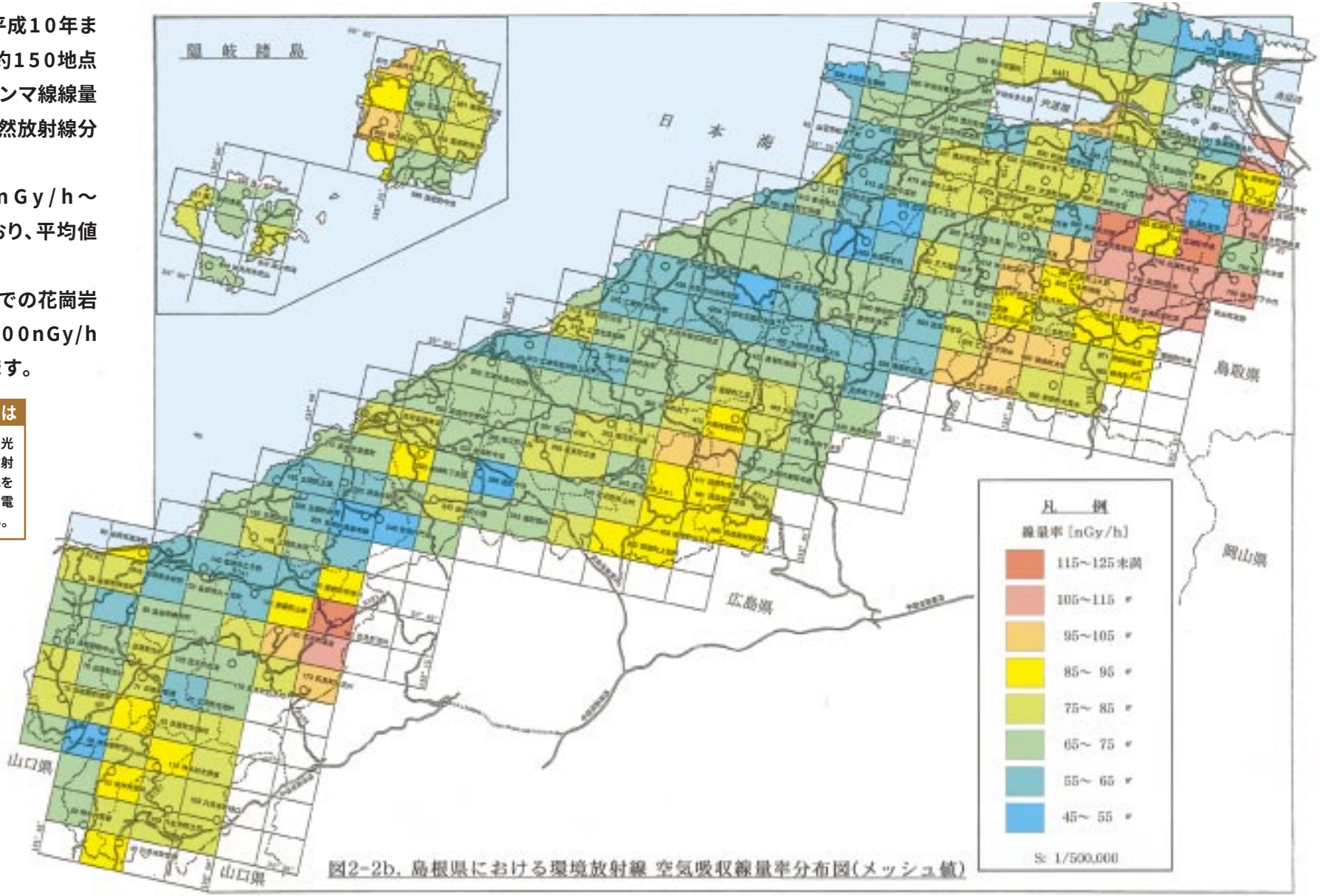

図2-2b. 島根県における環境放射線 空気吸収線量率分布図(メッシュ値)

注) 1993～98年5地域逐次調査・非積雪期標準値・熱ルミネセンス線量計(TLD)による